

奉協
仕力勤誠
勉実

創立53年

秩父地域唯一の商業高校

埼玉県立 皆野高等学校

minano high school

HPアドレス <http://www.minano-h.spec.ed.jp> TEL 0494-62-2076

はじめまして、このたび本校に着任いたしました校長の松本英和です。秩父地域唯一の商業高校であり、伝統ある皆野高校の校長として、力を尽くして参ります。

さて、新しい年度が始まりました。着任式・始業式・入学式・対面式（新入生と2・3年生が正式に初めて出会う場）等、年度当初の行事も無事終了しました。新入生の皆さんには、あっという間の2週間だったのではないのでしょうか。2・3年生の皆さんも、新しい環境でのスタートで緊張の日々であつとことでしょう。新しい環境は「力」を持っていて、頑張ろうとする気持ちと呼び起こしてくれます。その思いを大切にに取り組んでいきましょう。私自身も、この「初心」を大切に持ち続けたいと思います。

年度初めの行事で、感心したことがあります。それは、生徒の皆さんの態度の立派なことです。入学式では呼名された新入生一人ひとりがしっかりと起立して、校長の方を見てくれたことに始まり、新入生代表者の誓いの言葉が堂々として立派であったことなど、素晴らしい入学式での態度でした。対面式での生徒会長のあいさつは、新入生に語りかけるようで優しく丁寧で、心温まるものでした。また、校長から話をする際には、よく前を見て聴いていてくれました。頷きながら聴いてくれる生徒もいて、感動しました。



また、先生方の教育に向かい合う態度の真摯で熱心なことにも感心しています。日々、先生方と話をする、いかに生徒のことを考えてくれているかがわかります。「教育は人なり」といいます。本校は、全県・全国に向けて「いい先生がいる」と声を大にして言うことのできる素晴らしい学校です。

これから、生徒・保護者・地域・教職員のそれぞれの力が発揮され、その力を集めて、「生徒の将来に向けた教育活動」が行われるかと思うと、校長として「ワクワク」します。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

始業式・入学式

4月9日の始業式では、進級した2・3年生に向けて次のような話をしました。「（第一回目の話ですので）校訓の一番初めにある『誠実』について話をします。『誠実』とは、前向きに地道に取り組み、嘘をつかず、裏表なく、真剣に向き合い取り組むことです。そのように取り組む気持ちを『誠意』といいます。『まこと』に意志の『い』です。『まことのこころ』といいと思います。この『誠意』について、かの松下幸之助さんはこんなことを述べていらっしゃいます。『経営を進めていく上で、最も困難があろうと思われるのは販売です。あまり妙案奇策のない販売の世界で特色を発揮し、成功させるためには結局はお互いの誠心誠意ではないのでしょうか。（PHP 研究所「松下幸之助 一日一話」より）』世界で有数の企業を創りあげた方にして、誠意を基本と考えています。新年度にあたり、皆さんも誠意をもって一所懸命に取り組んでください。

3年生は、いよいよ進路実現の年です。2年生は、学校の中心となって学校を支える年です。午後には、1年生が入ってきます。皆さんは、先輩になります。ぜひ、温かく迎え、皆野高校が一つの家族のようになり、優しい学校を創っていきましょう。

また、入学式式辞の中では、特に新入生に向けた言葉として次のような話をしました。「パナソニックという世界有数の企業を築いたかの松下幸之助さんは、『一步一步の尊さ』について述べていらっしゃいます。『あれも作りたい、これもやりたいと次から次へと願うことは際限ないが、一步一步進む他に到達する道があるか。それは絶対にない。やはり一步一步のつ



ながり以外に道はない。一を二とし、二を三として、一步一步進んでゆけば、ついには達するだろう。一步一步の尊さをしみじみ味わわねばならぬ。』偉大な経営者として尊敬される方をもってしても、一步一步の大切さを説いています（出典：PHP 研究所「松下幸之助 一日一話」）。三年間の高校生活を歩み出そうとする皆さんも、毎日の学校生活一時間一時間の授業、一瞬一瞬の学び、学業や部活動、清掃や特別活動など、目の前の成すべきことに正面から全力で取り組み、やがては、皆さんの目指す進路を実現し、社会に大きく羽ばたいてください。」